

学校だより

白山市立鳥越中学校

特別号 令和4年9月2日(金)

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果・分析

4月19日(火)に実施された3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果については既に新聞報道等でもありましたが、石川県は、中学校3教科(国語・数学・理科)全て、全国トップという結果でした。

つきましては、本校での結果分析や考察等ができましたので、その概要を保護者の皆様方にお知らせします。本校でも、授業改善及び学習指導や生徒指導の改善・充実のために反映させていきます。

1 3年生全国学力調査より 本校の結果

教科	県との比較	国との比較
国語	県平均を上回る	全国平均を上回る
数学	県平均を上回る	全国平均を上回る
理科	県平均を上回る	全国平均を上回る

2 分析・考察・改善策

【国語】

分析・考察

知識や技能の中でも、言葉の特徴や使い方に関する知識はよく身につけている。また、話すことや聞くこと、読むことについての記述式問題も内容をしっかり捉えた答案が書けていた。一方で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題が見られる。

改善策等

- ◆根拠を設定して自分の考えを伝えられるように、定期テスト等で条件付き作文に取り組む。
- ◆資料を使って文章を作成する場面を設定し、何から引用したのかを示したり、引用文はどう書いたらいいのかを確認したりして、自分の意見と引用文を明確に書き分けることを再確認する。

【数学】

分析・考察

基本的な知識や技能は概ね身につけており、記述式の問題においても、自分の考えを書くことができている。しかし、図形の性質が成り立つ理由を適切に説明することや数学的な表現を用いて適切に説明することに課題が見られる。

改善策等

- ◆基礎的な知識・技能を定着させるため、プリント演習や小テストを行う。
- ◆問題解決の方法や図形の性質が成り立つ理由などを説明する場面において、式や表、グラフ、図、用語などを用いて適切に表現する方法を考える機会を増やす。

【理科】

分析・考察

基礎的な知識や学習習慣は、概ね定着している。表面的に見える現象から深めて思考することに課題がみられる。

改善策等

◆問いに対する答え方を吟味する指導をおこなう。また、課題の発見、解決のための観察や実験の計画、結果の考察やまとめをレポート形式で作成する機会を設ける。

3 学習・生活の状況（質問紙調査より）

（1）主な質問事項についての結果と分析・考察

- ①家で自分で計画を立てて勉強をしていると答えた生徒の割合は8割近くあった。また、ほとんどの生徒は平日1時間以上の家庭学習をしており、2時間以上取り組んでいる生徒は5割、休日2時間以上取り組んでいる生徒は6割以上という結果であった。多くの生徒は、家庭学習の習慣が身につけており、自分なりに計画的に学習に取り組んでいると考えられる。
- ②ほとんどの生徒は規則正しい生活が送れているようである。しかし、ゲームをする時間や携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている時間（平日）について、約4割の生徒が2時間以上と答えており、3時間以上と答えている生徒もいる。
- ③地域の行事に参加していると答えた生徒は8割であり、地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると答えた生徒は6割以上であった。自分たちの住む地域に対して貢献しようとする思いが育まれている。

（2）改善策等

- ①各教科で効果的な学習内容を提示したり、定期テストや小テストに向けて計画的に取り組めるよう個々の生徒に応じてアドバイスをしたりしながら、家庭学習のさらなる充実を目指していく。
- ②今後も規則正しい生活が送れるように生徒たちの様子を把握していく。また、「ノー情報端末デー」の取り組みを継続し、家庭での情報端末の利用の時間の削減に向けた呼びかけを行っていく。
- ③総合的な学習の時間では、地域をテーマにした探究活動を行っている。地域の自然や産業、伝統、文化などを調べる活動や校外研修を通して自分たちの住んでいる地域の良さを発見したり、自分たちができることを考えさせたりしていく。地域の魅力や課題を発信する活動を通して、さらなる郷土愛を育めるよう取り組んでいく。

本校ではこのような機会を通して、生徒の学びが一層充実するよう改善活動に取り組んで参ります。